

# 平成20年度 第63回国民体育大会 関東ブロック大会 バasketボール競技

平成 20 年 8 月 17 日 (日) 試合開始 9:00 試合終了 10:20

【少年女子】 準決勝 富士北麓公園 体育館 Aコート 第 1 試合

神 奈 川	71	$\left\{ \begin{array}{l} 24 - 17 \\ 22 - 18 \\ 6 - 17 \\ 19 - 16 \\ - \end{array} \right.$	68	千 葉
-------	----	---------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----

## 神 奈 川

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	金山 舞穂	11	2	7	2	13	1	2	2	3	1	4	3	5	0	7
5*	門脇 萌乃	8	0	0	4	5	0	0	1	1	0	1	6	1	0	3
6	福田 悠香	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	2	1	2	0	1
7*	傳田 みのり	8	0	0	4	7	0	0	3	7	2	9	2	4	2	6
8*	篠崎 滯	20	2	2	7	8	0	0	5	3	1	4	0	1	0	4
9*	番園 ゆり子	6	0	0	3	7	0	2	2	2	1	3	3	4	1	3
10	小原 みなみ	0														
11	則本 真奈	0														
12	北山 悠乃	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	久保田 千尋	11	1	1	3	4	2	2	2	1	0	1	0	2	0	0
14	飯田 都季	0														
15	竹浦 萌	4	0	0	1	1	2	2	1	1	0	1	2	0	0	0
HC	岡崎 朝夫 / チーム	0										0				
合 計		71	6	11	24	45	5	8	20	5	25	17	19	3	24	

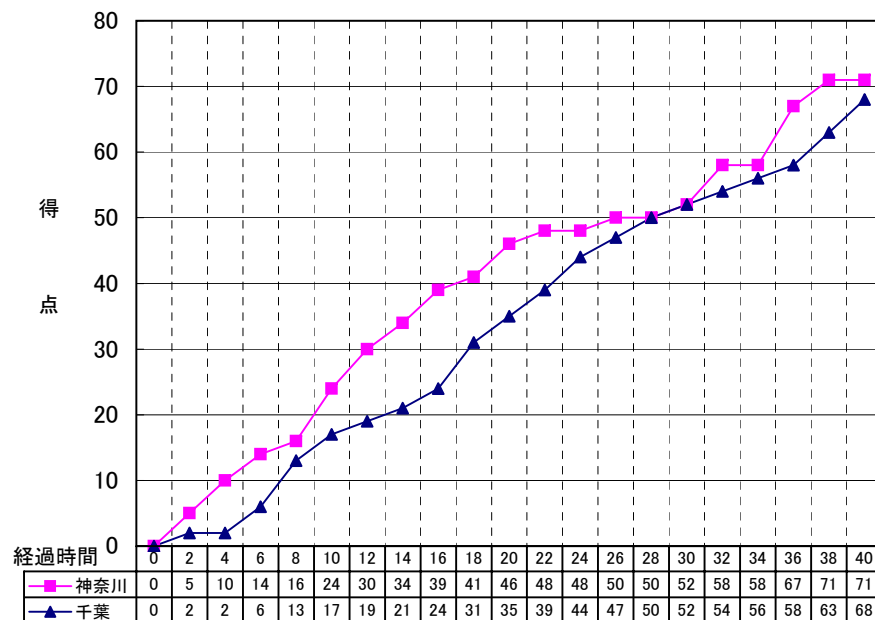
\*はスターティングメンバーを表す 確率 54.5% 53.3% 62.5%

## 千 葉

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターン
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		DF	OF	計				
4*	小林 礼奈	4	1	2	0	2	1	2	1	3	0	3	0	1	0	0
5*	大江 美香	0	0	1	0	4	0	0	2	4	2	6	2	3	0	5
6	長尾 彩美	0														
7	望月 桜子	0														
8*	元山 夏菜	6	0	0	3	8	0	1	1	2	0	2	0	0	1	
9	北館 美保	9	1	1	2	3	2	3	0	2	0	2	2	0	0	5
10*	大河原 晶子	6	0	0	2	3	2	2	3	3	1	4	1	1	0	1
11	磯谷 未来	36	2	4	11	17	8	10	2	3	1	4	0	1	0	3
12	鈴木 茉里菜	0														
13	菊崎 祥子	5	0	1	2	5	1	2	2	1	0	1	8	5	0	4
14	小菅 由香	2	0	0	0	2	2	2	0	1	2	3	1	2	1	2
15*	常田 実咲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
HC	鈴木 親光 / チーム	0										0				
合 計		68	4	9	20	44	16	22	11	19	6	25	14	13	1	21

\*はスターティングメンバーを表す 確率 44.4% 45.5% 72.7%

## 2分毎による得点の推移



## 戦評

本大会出場権をかけた一戦、千葉のハーフマンツーマンに対して神奈川はオールコートマンツーマンでスタート。開始早々、神奈川④金山の3Pが決まると、昨日30得点と大活躍の⑧篠崎が3P2本を含む8得点で13-2と神奈川が一気にペースを掴む。残り5分、千葉はたまたまずタイムアウト。ここから千葉は激しいディフェンスと速い展開でなんとか食い下がり24-17で第1Pを終了する。第2P、お互いに激しいディフェンスで一進一退の攻防が続く。なかなかシュートの決まらない千葉に対して、神奈川は⑩久保田の思いきり良いプレーで得点を重ねる。千葉も⑩北館のシュートで応戦するも流れは変わらず46-35と神奈川11点のリードで前半を終える。第3P、追いつける千葉は⑩磯谷の積極的なドライブで得点を重ねながら、粘り強いディフェンスで5分間神奈川を2点に押さえ48-45と一気に3点差まで詰め寄る。残り2分には千葉⑩菊崎がフリースローを一本決めて50-50とゲームを振り出しに戻した。この後、お互いに2得点ずつあげ52-52の同点で勝負は第4Pにもつれ込んだ。第4P、神奈川の3連続得点で離れたゲームも、残り8分タイムアウトをとった千葉は落ち着きを取り戻し、58-56とする。しかし神奈川④金山の3Pをかわきりに神奈川の止まりかけていた脚も動き出し、一気に9得点をあげ67-58とペースをつかむ。残り4分、千葉もタイムアウトをとり⑩磯谷を中心に反撃を試みる。残り1分を切った所で71-68の3点差で千葉のスローインとなるが、ここで痛恨のバスマス。結局71-68の3点差で神奈川が本大会の出場権を獲得すると同時に決勝にコマを進めた。

主 審 田之口 晃士 (山梨)

副 審 二宮 隆二 (茨城)

記入者 五味 亮 (山梨)